

# DOKIGAWA

リバーキーパーズ

# RiverKeepers



# つうしん

## Vol.197(令和3年10月)

金木犀が香り高い花を咲かせ、虫たちによるコンサートが連日開催されている今日この頃、リバーキーパーズの皆様はいかがお過ごしでしょうか。食べ物がおいしい季節なので、しっかり食べて新型コロナウイルス感染症やインフルエンザなどの病気を撃退しましょう！

今月号では、「和歌山市の水管橋崩落に伴う断水への支援」、「植物相の秋季調査」、「流域治水シンポジウム開催のお知らせ」についてお知らせいたします。

### ○和歌山市の水管橋崩落に伴う断水への支援

10月3日、和歌山市の「紀の川」にかかる「水管橋」の一部が崩落し、和歌山市内の4割近くにあたる約6万戸が断水しました。これを受け、香川河川国道事務所では、和歌山市へ災害協定業者を派遣し、ペットボトル備蓄飲料水の提供を、和歌山労災病院へ、給水車による支援をそれぞれ10月5日と6日に行いました。

この断水の影響は、10日午後4時ごろに解消し、同日の午後8時には飲料水としても使用可能に復旧しております。

今後も被災地域における被害拡大の防止や早期復旧・復興のために適時・適切で効果的な応援・支援をより積極的に推進してまいります。



NHK NEWS WEB 「和歌山“水管橋”崩落6万戸で断水続く きょうから復旧工事」より  
<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20211006/k10013293151000.html>



香川河川国道事務所等

高松合同庁舎

和歌山市



## ○植物相の秋季調査

令和3年10月7日(木)、8日(金)に植物相の秋季調査を行いました。河川川辺の国勢調査の一環で、10年に1度、植物相の調査をしております。

河川川辺の国勢調査は、河川における環境面からの基礎情報の収集・整備をすることで土器川の状態を把握することを目的としており、毎年、異なる調査内容を実施しております。また、その調査結果については、「河川環境データベース」のウェブサイトより、閲覧することができます。なお、生物の調査については、県内の学識経験者により構成される土器川河川環境・溪流アドバイザーから助言や所見などをいただき、今後の河川整備に活かしていきます。

調査年度	調査内容	調査頻度
平成28年度	河川環境基図作成	5年に1回
平成29年度	鳥類	10年に1回
平成30年度	陸上昆虫類	10年に1回
平成31年度	魚類	5年に1回
令和2年度	底生動物	5年に1回
令和3年度	植物相	10年に1回
令和4年度	河川環境基図作成	5年に1回
令和5年度	両生類・爬虫類・哺乳類	10年に1回
令和6年度	魚類	5年に1回
令和7年度	底生動物	5年に1回

今年は植物相!!



河川川辺の国勢調査マニュアル: <http://www.nilim.go.jp/lab/fbg/ksnkankyo/mizukokuweb/system/manual.htm>

河川環境データベース: [http://www.nilim.go.jp/lab/fbg/ksnkankyo/dl\\_88\\_index.html](http://www.nilim.go.jp/lab/fbg/ksnkankyo/dl_88_index.html)

## ○流域治水シンポジウム開催のお知らせ

令和3年11月19日(金)13時より、サンポートホール高松第1ホールにて「流域治水シンポジウム～地方特性を踏まえた流域治水を考える～」を開催予定です。

近年の大被害や気候変動による浸水リスクが高まっている現在、四国などの地方でも従来の治水対策から、「流域治水」へ転換する必要があります。「流域治水」とは、氾濫域を含めた河川流域全体のあらゆる関係者が協働し、流域全体で水害を軽減させる治水対策です。今回のシンポジウムでは、高知高専や中央大学の教授などを招いて講演およびパネルディスカッションを行い、「流域治水」について考えていきます。当日は、YouTubeにてオンライン配信いたします。聴講希望の方は下記の必須事項を記載の上、11月10日(水)までにメールでお申し込みをお願いいたします。

E-mail : [skr-chiikikasen@mlit.go.jp](mailto:skr-chiikikasen@mlit.go.jp)

必須事項 : ①氏名(ふりがな) ②ご所属・役職 ③ご住所 ④お電話 ⑤E-mail ⑥聴講方法「オンライン」を明記

※11月11日(水)以降にシンポジウムに参加するためのURL(YouTube)を送付させていただきます。

# 四国地方 流域治水シンポジウム

～地方特性を踏まえた流域治水を考える～

近年の大被害や気候変動による浸水リスクの高まりを考えたとき、四国など地方においても従来の治水対策から、「流域治水」へ転換することにより、流域の安全・安心を高めて大被害を軽減する必要があります。  
流域治水の推進に向けて、シンポジウムを開催しますので、関係各位お問い合わせのうえ、奮って参加くださいますようお願いいたします。

日時 令和3年11月19日(金) 13:00～17:00(受付12:30～) 場所 サンポートホール高松 第1小ホール (高松シンボルタワー棟4階) YouTube オンラインでライブ配信

主催 国土交通省四国地方整備局、徳島県、香川県、愛媛県、高知県

プログラム (内容は変わる可能性があります)

13:00～13:05	開会挨拶 国土交通省 四国地方整備局長 丹羽 克彦
13:05～13:15	四国地方の河川管理に関する勉強会の取組 高知工業高等専門学校 ソーシャルデザイン工学科 教授 岡田 将治
13:15～14:20	基調講演「最近の豪雨災害を踏まえ流域治水を考える」 中央大学研究開発機構 教授 福岡 捷二
流域治水の取組について	
14:20～14:40	流域治水の現状と課題 国土交通省 水管理・国土保全局 河川計画課 河川計画調整室長 朝田 将
14:40～15:00	一級水系 仁淀川水系(高知県) 国土交通省 四国地方整備局 高知河川国道事務所長 多田 直人
15:00～15:20	二級水系 立間川水系(愛媛県) 愛媛県 土木部長 葛原 健二
15:20～15:30	休憩
15:30～16:50	パネルディスカッション「地方特性を踏まえた流域治水を考える」 コーディネーター 愛媛大学大学院 理工学研究科 教授 森脇 亮 パネリスト 中央大学研究開発機構 教授 福岡 捷二 愛媛県 宇和島市長 岡原 文彰 高知県 日高村長 戸梶 眞幸 国土交通省 水管理・国土保全局 河川計画課 河川計画調整室長 朝田 将 国土交通省 四国地方整備局 河川部長 原田 昌直 徳島県 県土整備部長 貫名 功二 香川県 土木部長 西川 英吉 愛媛県 土木部長 葛原 健二 高知県 土木部長 森田 徹雄
16:55～17:00	閉会挨拶 国土交通省 四国地方整備局 河川部長 原田 昌直

シンポジウムに関するお問合せ先: 国土交通省 四国地方整備局 河川部 地方河川課 Tel:087-811-8318 E-mail:[skr-chiikikasen@mlit.go.jp](mailto:skr-chiikikasen@mlit.go.jp)

土器川リバーキーパーズ通信は、皆様のご意見・ご質問に河川管理者としてお答えしていくものです。土器川に関して、気になっていること、わからないことなど、どしどしとご意見をお寄せください。

土器川リバーキーパーズに関するお問合せは



国土交通省四国地方整備局  
香川河川国道事務所 <http://www.skr.mlitt.go.jp/kagawa/>

〒760-8546 高松市福岡町4-26-32  
TEL:087-821-1619(工務第一課直通) FAX:087-821-1713

